

〔倭訓栢志前編十一〕し○中 略

日本紀に羊蹄をしとよめり、又中蒂姫あり、蒂も蹄に同じ、倭名抄にも羊蹄菜和名しと見え、新撰字鏡には、のしねと見えたり、今俗ぎしくとも、すいたふともいへり、

すべて大黃おほし、知母やましの類、しとよぶ草は皆蹄の類也、

〔重修本草綱目啓蒙十六〕羊蹄

水草

同上

シ○古歌

イチシ○同上

シ○ネ○和方

シ○ネ○ダ○イ○コ○ン○同上

シ○ネ○ダ○イ○コ○ン○同上

シ○ネ○ダ○イ○コ○ン○同上

シ○ネ○ダ○イ○コ○ン○同上

シ○ネ○ダ○イ○コ○ン○同上

シ○

阿州和名鈔

同上

シ○ハ○南○部

シ○ベ○津○輕

キ○シ○ギ○シ○京

キ○シ○ギ○シ○ダ

キ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○ル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○ル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

河州

同上

シ○ハ○ダ○イ○ワ○ウ

仙臺

タ○イ○グ○サ○三才

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○シ○タ

シ○イ○備○前

ギ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○ハ○ダ○イ○ワ○ウ

仙臺

タ○イ○グ○サ○三才

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○シ○タ

シ○イ○備○前

ギ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○ハ○ダ○イ○ワ○ウ

仙臺

タ○イ○グ○サ○三才

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○シ○タ

シ○イ○備○前

ギ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○シ○タ

シ○イ○備○前

ギ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○シ○タ

シ○イ○備○前

ギ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

ノダ○イ○ワ○ウ

同上

シ○ノ○シ○タ

シ○イ○備○前

ギ○ジ○ギ○ジ○讃州

シ○ロ○ギ○シ

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○イル○ノキ○ツ○ケ泉州

カ○

〔長生療養方諸藥功能〕

二

羊蹄 味苦寒無毒、主癰瘍疥癬、

陰熱、

〔宜禁本草乾草〕羊蹄 苦寒、主頭癩疥癬、殺蟲治癬、

葉治小兒疳蟲、殺魚毒可作菜食、

酸摸葉酸美、小兒折食其英、殺皮膚小蟲、

羊蹄治腸風痔瀉血、羊蹄根葉爛蒸一椀菜食立瘥、葉可潔擦

瑜石器、

〔延喜式三十九〕供奉雜菜